

# 人と人とのつながり

田丸 あけみ

今年度も残り一か月となりました。

職員は、年度終わりと年度始まりが一気に押し寄せてくるこの時期は少し息切れする季節でもあります。子ども達はパワー全開です。

先日、父親懇談会があり、私は、みかん組に参加しました。懇談会の中でアトム生活を振り返り、色々な思い出話しをする中、どのお父さんにも共通していた事は、園舎の建て替え期間中の出来事でした。

つばさ共同保育園、東保育所で過ごした事、引っ越し作業を手伝った事、アトムのオリジナルタオルを作った事など、「そんな事もしたなあ」「あったなあ」としみじみ話ししているお父さん方の姿を見ながら、大変な時期を支えて頂いたことに改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

そして、もう一つは、学校生活が始まる中で、親御さんを知っていると知らないのでは、大きく違うという話しになりました。きっとそれは、お母さんも一緒だと思います。

卒園してからも人と人との繋がりを大切に育ててほしい。もし困った事や悩み事、反対に嬉しい事や楽しかった事があった時にも、話を聞いてもらえる仲間の存在は、本当に大切だと思うのです。

そんな“仲間作り”もキーワードの一つとして、懇談会や行事を行ってきました。しかし、中には人との繋がりは面倒だと感じている人もおられると思います。それも正直な気持ちだと思うのです。そこも素直に表現しながら、色々な経験を経て、繋がれてよかったな。相談できる仲間に出会えてよかったなと少しでも感じてほしいと願っています。それはきっと子ども達にとってもプラスになっていくと思うからです。

それは、職員間でも同じです。ギスギスした職員同士の関係は、子ども達にとって、プラスになる事は決してないのです。だから、職員間の関係作りを今年度も大切にしてきました。仲間が悩んでいたら、その悩みを解消してほしいと思うし、双方でボタンの掛け違いがあったら、元に戻したいと思う。不穏な空気が流れていたから、穏やかな空気に変えたいと思うのです。その時その時で、色々な職員が、第三者的な立場で入っていき、話し合いを重ね、互いを知り合う事を何度も繰り返してきました。それは、子ども達への対応や声かけと同じなのです。反対に子ども達の方が柔軟だと思う事も多々あり、私自身も、頭を抱える事が沢山ありました。でも、そこは、諦めたくないのです。人と人が目を見て話しをするという当たり前のやりとりですら希薄になっている今。感情や気持ちも一方通行になりがちです。思いやりの心や、相手の立場になって考えるという事など、自分も他人も大切に思える大人でありたいと思うし、あってほしいと願います。

あと一か月で来年度がスタートします。卒園される方は次のステージへ、転園や引っ越しをされる方は、また新しい出会いへ、一つクラスが上がる方もまた出会いがあります。きっとそれぞれの場所で色々なドラマがあると思いますが、困った事も悩み事もいろんな人の知恵が集まれば解決できない事はないと思っています。つながりを大切に…。

最後に この一年もアトム共同保育園の職員を育てて頂きありがとうございました。